

# 5

## 市場運用のさらなる高度化



### 「ポートフォリオ最適化に向け、 マルチアセットファンドをコア資産とした 分散投資戦略の実現」

株式会社 北國銀行  
常務執行役員 市場金融部長  
鷺池 誠一



#### 市場運用体制の見直し

北國フィナンシャルホールディングスは2023年5月公表の中長期経営戦略2023にて、市場運用を重点ビジネス領域のひとつに追加し、市場運用のさらなる高度化に取り組んでいます。2023年3月に市場運用における中核的な業務、投資戦略や運用計画の策定などを、北國FHDグループの投資助言会社である株式会社FDアドバイザリーに移管し、市場運用にかかる専門人材についてもFDアドバイザリーへ集約しました。また、同6月にはFDアドバイザリーと地域金融機関への投資助言を行っていた株式会社ALCOLABが合併し、会社名を株式会社FDALco(エフディアルコ)に変更し、新たに事業をスタートさせています。ALCOLABは、グローバル・アセット・アロケーション※1)を重視した投資助言、地域金融機関が有価証券運用業務をコア事業にするための業務態勢の強化支援、リスクアベタイト・フレームワーク※2)の導入・活用

支援等を通じて、地域金融機関のビジネスモデルの変革を支援してきました。

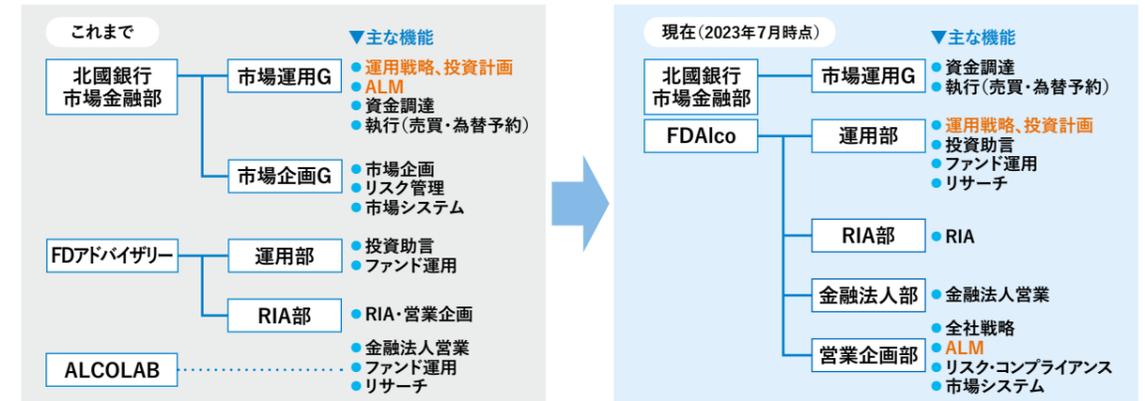
今後は、北國FHDの業務基盤にALCOLABの知見も融合させることで、市場運用とリスク管理のさらなる高度化に取り組んでいきます。

また、北國FHDの有価証券運用で培ったノウハウや知見を、「既存業務」や「地域」の枠を超え、個人や事業法人、全国各地の地域金融機関にも提供し、個人のお客さまの豊かな生活と企業のお客さまの持続的な成長に貢献することを目指してまいります。

※1)グローバル・アセット・アロケーション：特定の運用商品や、国・地域に資産(アセット)を集中させず、分散して配分(アロケーション)し、リスクを軽減・コントロールしながら効率的にリターンを獲得する資産配分のこと。分散投資の考えにもとづいた資産管理の手法の一つ。

※2)リスクアベタイト・フレームワーク：経営目標や事業戦略、財務計画などを達成するための「リスクアベタイト(どのような業務に取組み、どのようなリスクをどこまで取り、どの程度の収益を上げるかに関する中長期的な指針)」を明確にし、経営やリスクなどを管理する「フレームワーク(枠組み)」のこと。

#### ●市場部門体制図



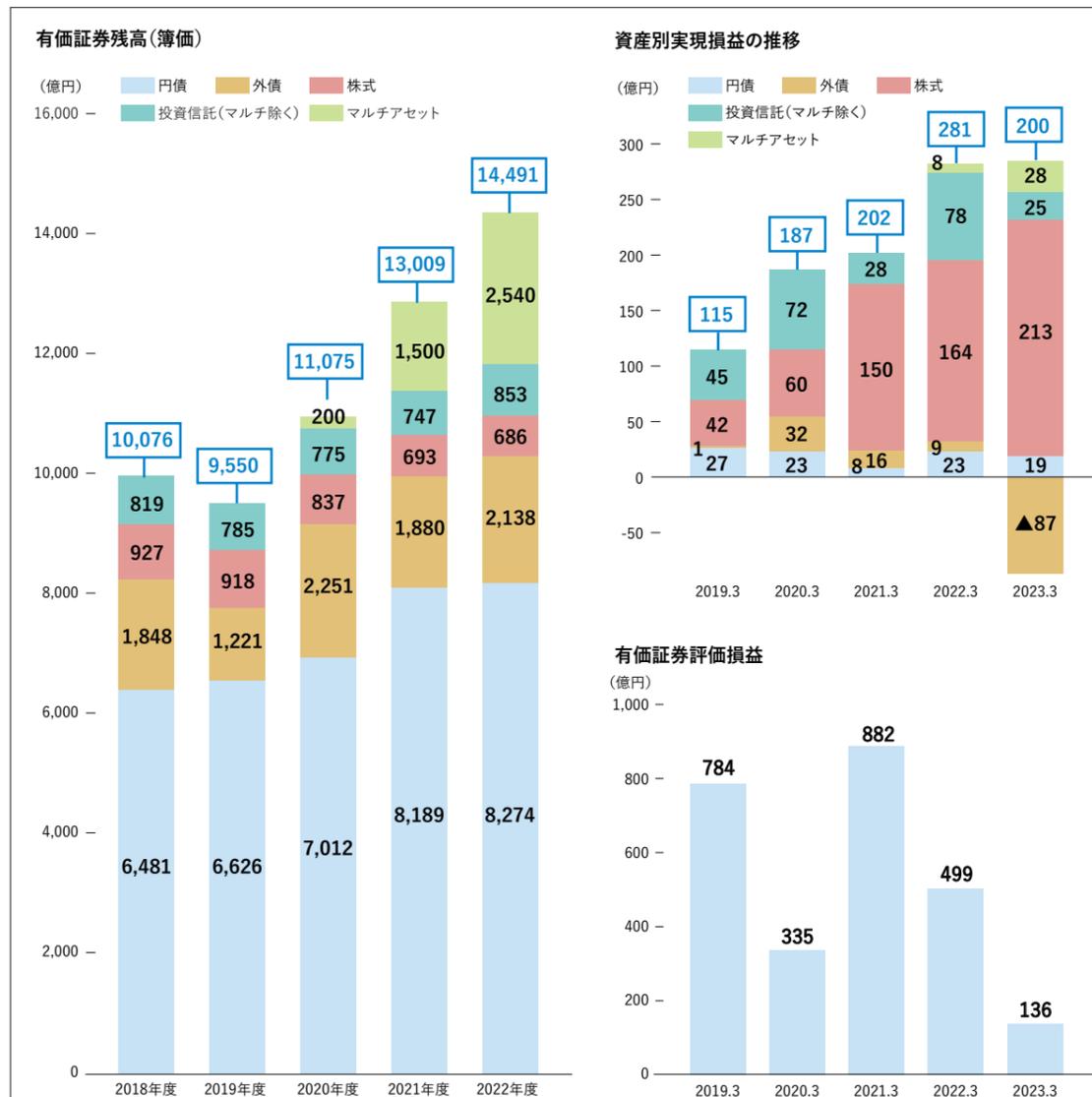
●北國FHDグループの市場機能をFDALcoに集約し、市場運用に関する専門性とリスク管理機能をより一層強化する。

## 市場運用の実績と特徴

有価証券残高は1兆4,491億円と、増加基調となっています。分散投資戦略を基本とし、バイアンドホールドからの脱却、リスクアペタイト・フレームワークを起点としたリスク管理体制と市場運用収益強化を図ってきました。

運用の特徴としては、株式投資とマルチアセットファンドの増強が挙げられます。2014年より、純投資目的株式(日本株)を増強しました。背景には、コーポレートガバナンスに注目が集まり、株主還元策の積極化、企業価値増加に期待が持てる状況にありました。コロナ禍、海外金利上昇など厳しい環境もありましたが、直近では、株式評価益を実現させ収益に大きく寄与しています。

また、2021年からは、マルチアセットファンドを増強しています。分散投資戦略を強化するため、中長期での安定的収益をもたらすコア資産となっています。直近2年で2,540億円まで投資額を拡大させ、一段の増強を図ってまいります。2022年度は、外債運用は金利の急激な上昇により逆ザヤとなったため、一部損切り、実現損を計上しました。今後1年程度は、外債運用にとって引き続き厳しい環境が続くと予想される等、グローバル経済は不透明感を増しております。そのような環境下でも、金利サイクルを見通し、株式市場の成長を取り込めるグローバル・アセット・アロケーションを意識したポートフォリオを構築していきます。近視眼的にならず、適切にリスク・コントロールしながら、中長期視点でポートフォリオの最適化に取り組んでいく方針です。

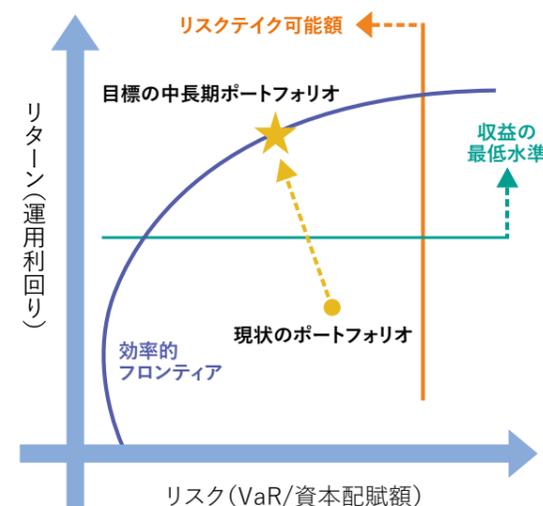


## ポートフォリオ最適化に向けた取組み

2023年5月公表の中長期経営戦略2023においても期待リターン2%前後のポートフォリオ構築を目標として掲げており、ポートフォリオ最適化に向けた取組みを強化しています。中長期視点でリスク・リターンの効率が最も良い目指すべきポートフォリオ(モデルポートフォリオ)を明確にし、個別資産ではなく、ポートフォリオ全体でのパフォーマンスを意識した投資計画・戦略を策定していきます。期待リターンやポートフォリオ構築のプロセス等を可視化し、ポートフォリオについての説明力を向上させることで、社内外での議論も活性化させていきます。



また、モデルポートフォリオに必ずしも拘らず、市場環境の変化やシナリオに基づき、ポートフォリオを予防的にリバランスさせる等、フォワード・ルッキングなポートフォリオ運営・リスク管理に取組み、ポートフォリオ運営を高度化させていきます。



## マルチアセットファンド

有価証券利回り及びシャープレシオ向上のため、FDAlcoが運用会社に投資助言を行うマルチアセットファンドを、ポートフォリオ全体のコア資産として組み入れています。FDAlcoが投資助言を行うことで、北國FHDの運用戦略に沿った、シンプルかつ低コストなマルチアセットファンドを実質的に内製することができます。

マルチアセットファンドをポートフォリオに組み入れることで、海外の調達環境が厳しい局面や、相場環境が大きく変化する状況においても、安定的な資金収益が期待でき、価格変動を抑制しながら中長期的なキャピタルゲインを得ることができます。また、こうした安定的な収益が得られることで、各資産の保有利回り向上のためのリバランスも可能となるなど、運用の柔軟性も高まります。

マルチアセットファンドは北國FHDだけでなく、地域金融機関や事業会社でも運用いただいています。今後も安定的な資金収益確保と中長期的な評価益の拡大に資するマルチアセットファンドへの取組みを強化してまいります。

### ●マルチアセットファンド運用比率

